

# クラブの伝統⑨ 立高ソフトテニス部座談会

## 脈々と継がれる強い絆

### 「軟庭部」OB・現役今昔物語

終戦後、動員が終わった生徒たちは、テニスサークルを作って体を鍛えた。勉強は後回しでひたすらテニスをした。体力の限界に挑む合宿はいつの時代でも現役の人数よりもOBたちの数が多かった。たった2名の新入生はOBたちとタッグを組んで休部状態のクラブを消滅の危機から救った。そして「軟庭部」は長い歴史を刻んできた。そこにはOBたちの無私・無欲の支えがあった。もうじき50年の節目を迎えようとしているOB組織の紫芳庭球会は、テニスを離れた者が戻るのをいつでも笑顔で迎えてくれる。これまでもこれからも。そんな軟庭部の今昔話。

#### ■出席者(敬称略)

- 髭野耕一(高3)
- 田坂耕太郎(高11)
- 亀山碩寛(高15)
- 中野修(高21・司会)
- 菊地則子(高34)
- 廣内大(高42)

#### 自分たちでつくったテニスコート

秋山茜(高62)  
撮影……大木茂  
原稿まとめ……中野修(高21)

中野……猛烈な暑さの中、お集まり頂きありがとうございます。本日の司会を担当します21期の中野です。髭野大先輩の「良い機会だから是非受けましょう」というご意向を確認して本日の座談会になりました。お配りした資料を参考にしながら、皆さま方から現役当時の思い出、苦労談等々をご紹介いただき、その後OB組織である紫芳庭球会の話を進めていただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

それではまず髭野さんから戦前の状況とか、戦後のクラブの復興のことなどについてお話しいただければと思います。

髭野……戦前のことはよくわかりませんが私が在学中に浦野先生の奥さんの兄さんが同窓会の集まりでテニスコートのことを話されてい

ましたので戦前も活動していたと思います。

中野……僕らの時は東側の講堂と弘心館の間にありました。当時もその辺に？

髭野……私が入ったのは昭和20年で、テニスコートは戦時中は畑だった。終戦後に国高(国立高校)と新制中学のグラウンドになっていた。

中野……どうやって練習していたのですか？

髭野……疎開から戻ってテニス部に入り、中学1年の時に体育館と寄宿舎の間にコート1面作った。しかし土が固く、後ろが狭いため、翌21年春に寄宿舎の東側に2面作ったが水はけが悪く、結局22年に朝礼台の後に1面作った。新制中学が併設されたが、グラウンドが広がったため、講堂の南側で中学生



髭野耕一(高3)

